

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	移住定住促進！下條村お試し住宅整備事業
事業主体 (連絡先)	下條村 0260-27-2311(内線105)
事業区分	(8)その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ハード
総事業費	3,352,000 円

事業内容

当村では、移住、定住、U I J ターン者の増加を目指し、昨年度から本格的に力を入れている。その中で、昨年度は首都圏へのセミナーの参加など計11回のイベントに参加してきた。その中で、村をアピールしても実際に足を運んで滞在してもらった施設が村にはなく、移住に興味を持った方に十分な案内が出来ずにいた。当村を紹介する中で、近年、多くの市町村が取り組んでいるお試し、体験住宅にぜひ行ってみたいとの声が多数あった。

空き家について、村内では約70戸の空き家が点在している。多くは、管理をしていなかったり、家財が残っている、修繕を行わないと住めない空き家であり、今後さらに増加する傾向であり対策を迫られている。

このような課題を解決していくべく、今回の移住定住促進！下條村お試し住宅整備事業を行うことにより、移住、定住、U I J ターン者が当村に訪れ、体験して頂く場を提供することが可能となり、移住、定住に大きな成果が期待できる。さらには、空き家を修繕し、活用することにより、移住定住者へ空き家の活用も促すことが可能となる。この事業により、移住、定住、U I J ターン者の増加を図り、人口の減少を防ぐことにより、村民の安心、安全な暮らしの確保を目指す。



【 お試し住宅内 】

【目標・ねらい】

- ①空き家の活用
村内の空き家を有効活用するため
- ②移住定住促進のため
お試し住宅として活用することで下條村への移住を考えている方へ村内生活を体験できる機会を提供することが可能となる。

事業効果

この事業にあたり、空き家所有者については、村の人口減少問題、お試し住宅の必要性等に賛成してもらい、実施することが出来た。

また、地域有志のボランティアでは、丸1日かかる程の重労働ではあったが、積極的に作業に取り組み、終了後の懇親会でも改めて、諸問題について話し合い、危機感を持って、今後も積極的に活動に取り組む旨を共有できた。

このお試し住宅完成までの間、仮のお試し住宅として村営住宅を利用し、10月から運営を行った。現在9組が仮のお試し住宅を使用し、1組が今回整備したお試し住宅を利用、今後の予約が3組である。このうちの大半が移住イベント等でお会いした方が利用してくれており、お試し住宅が非常に効果的であった。

お試し住宅利用者にアンケートを取った結果、お試し住宅に満足されている方がほとんどであった。村内の案内が充実している、職員の対応が良かった、実際に来てみて、移住のイメージがついた等の結果であった。また、実際に来て、移住は無理だと思ったなどの意見もあり、移住希望者と地域のマッチングを図る上で重要な役割を担っている。

10月からお試し住宅を利用された方で2組3名の方が現在までに下條村へ移住したことで、このお試し住宅の意義は大変大きいものである。

※自己評価【 B 】

【理由】
地域の有志による空き家内の不用品の片付けを行うことで、地域住民の空き家対策への喚起もでき、移住希望者が下條村の生活を体験することもできた。事業全体を通し、移住された方もいる。

今後の取り組み

お試し住宅を利用して定住移住事業を促進していくとともに、お試し住宅を利用した方と地域住民とコミュニケーションの取りやすい環境を整えていくことに力を入れるなど、課題を解決していく。

当初計画では、利用料を1週間3,000円とし、1か月単位での募集としていたが、検討を重ねた結果、お試し住宅をより利用しやすくし、期間を短くすることにより、多くの方にお試し住宅を利用してもらえるように利用料は無料、利用期間は1週間とした。

今後利用者の意見を参考にしながら、利用環境を整えていく。